

災害に備えて 確認と準備を

■ 男女共同参画の視点からの防災

「東日本大震災」や「熊本地震」など、過去の災害の経験や社会の変化から、避難所の環境は少しずつ改善されています。

中でも、人口の半分は女性であり、男女両方の視点からの災害対応が行われることが、災害に強いまちづくりの実現にとって必要になってきています。

今回は、性別や年齢、家族構成などに応じた災害の備えについて考えましょう。



えび~にゃ

■ 自分や家族に必要なものを準備しておくことが大切です

発災直後は混乱が生じるため、平常時から必要な備えをしておくことが必要です。

「ローリングストック」とは、普段から少し多めに買い、消費した分だけ買い足すことで、一定量を無理なく備蓄する考え方のことです。

日用品や着替え、女性用品、乳幼児用品、衛生用品についても、ローリングストックや非常時持ち出し袋の準備により、最低3日から1週間分備蓄することが望めます。

次のページを参考に、必要物品を整えておきましょう。



■ 主な備蓄品チェックリスト

3日間の生活ができる分量を最低限の目安に、できる限り1週間分を準備しましょう。

基本

- 非常食（ご飯・ビスケット・チョコレート・乾パン・缶詰など）
- 飲料水（1人1日3リットル目安）
- 感染予防品（マスク・手指消毒液など）
- 衛生用品（中身の見えないゴミ袋・トイレ袋・トイレトーパー・ティッシュペーパー・洗面用具など）
- 日用品（下着・衣類・タオル・寝袋・スリッパ・お皿など）
- 防災用品（ヘルメット・防災頭巾・軍手・携帯ラジオ・懐中電灯・ライター・ろうそく・カセットコンロ・カセットボンベ・電池・携帯電話やスマホのバッテリーなど）
- 救急用品（常備薬・お薬手帳・包帯・ガーゼ・ばんそうこう・体温計など）
- 貴重品（通帳・証明書類・現金など）
- ペット用品（ドライフード・水・リード・ペットシート・ケージなど）

女性

- 生理用ナプキン
（普通、長時間向け）
- 防犯ブザー・ホイッスル

高齢の方

- 大人用おむつ
- 尿とりパッド
- おしりふき
- 介護食（やわらかいもの）
- 入れ歯洗浄剤
- 常備薬・お薬手帳

子ども

- 粉ミルク
- 飲料水（ミルク用）
- ほ乳瓶（プラスチック製）
- ほ乳瓶の消毒剤
- 母乳パッド
- 紙おむつ
- おんぶひも・だっこひも
- おしりふき
- 離乳食・スプーン
- タオル・ガーゼのハンカチ

■ いざという時のために

突然やってくる自然災害を防ぐことはできませんが、事前に災害への対策や心構えを身につけておけば、被害を最小限に抑えることができます。

いざというときに落ち着いて行動できるよう、災害ごとの対応、災害情報の入手方法などを日頃からチェックしておきましょう。



くわしくは
海老名市防災
ホームページへ

■ 災害時に避難所などで孤立しないよう お互いに助け合いましょう

災害から受ける影響の傾向は性別やその人の環境で少し異なると言われます。災害時は、平常時の社会の課題が顕著になるため、女性が置かれている状況がより厳しくなる傾向があります。また、男性は孤立し支援が届きにくくなりがちです。

知人や隣人、被災者同士の声かけなど、困ったときに相談できるよう、普段から皆でお互いに気にかけて、助け合えるようにしておくことが大切です。



<災害から受ける影響や課題の例>

- ◆ 子どもや女性：家族や知人が災害対応で多忙になるため、孤立しがちとなり、暴力の対象となるリスクがあります。また、避難生活が長期になると、家庭の経済状況の悪化により、特に女性は男性と比較して進学を諦める傾向が上がります。
- ◆ ひとり親である女性：非正規雇用労働者である女性が多いため、雇用打ち切りにより収入が減少・途絶。立場が弱いとみなされ暴力の対象となるリスクがあります。
- ◆ 男性：他人に弱音を吐けない、リーダー役を無理に担わされがち、相談しようとせずにひとりで抱え込んでしまう傾向があります。
- ◆ 高齢の方、障がいのある方：一律の対応をされ、性別特有の支援や介助、プライバシーへの配慮が不十分になる（例：物資や環境面の問題、同性による介護・介助など）傾向があります。
- ◆ 外国籍の方：文化的、宗教的背景が理解されず、孤立しがちになります。

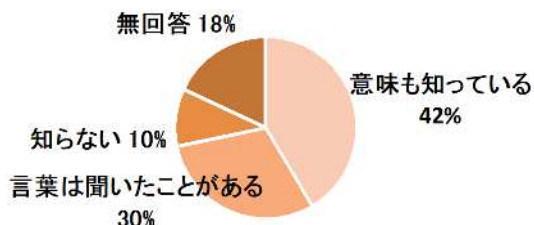
（参考：内閣府男女共同参画局「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」）

男女共同参画用語の認知度調査

市が主催する令和4年度の人権・平和・男女共同参画に関するイベントやセミナーに参加された市民の方 272 名に対して、男女共同参画用語の認知度調査を行いました。

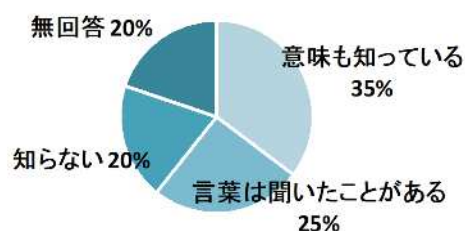
男女共同参画社会

意味も知っている	113名	42%
言葉は聞いたことがある	82名	30%
知らない	28名	10%
無回答	49名	18%



ワーク・ライフ・バランス

意味も知っている	96名	35%
言葉は聞いたことがある	69名	25%
知らない	53名	20%
無回答	54名	20%



知っていますか？ 男女共同参画用語 No.14

「ダブルケア」

子育てと親の介護の時期が重なり、これらを同時に行うことです。晩婚化・晩産化等を背景に、育児期にある人が、親の介護も同時に担うことが多くなっています。ダブルケアを行う人の身体的・精神的負担が大きいことが問題となっています。

相談係より



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

海老名市は、女性相談員による女性のための相談を実施しています。夫やパートナー男性からの暴力・女性の悩みについて一緒に考えます。

女性相談ダイヤル ☎ 046-231-2224

月～金曜日 9時15分～12時、13時～17時15分

※祝日・休日・年末年始除く ※緊急時は警察へ連絡してください



発行 海老名市 市民相談課 人権男女共同参画係
電話 046-235-4568 (直通)

*市HP (<http://www.city.ebina.kanagawa.jp>)でも閲覧できます。
*ご意見・感想は市HPのお問い合わせフォームよりお送りください。



海老名市
住みたい 住み続けたいまち



男女共同参画